

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立中沢中学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 情報の扱い方について、具体と抽象など情報と情報との関係を理解することができる。 我が国の言語文化について、行書の特徴を理解することについては改善の状況が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えること。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な場合について、確率を求めることはできている。 正の数と負の数の加法の計算はできている。 	<ul style="list-style-type: none"> 連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すこと。 統一的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること。
質問調査	<ul style="list-style-type: none"> 「自分には、よいところがあると思う」と答えた生徒が多く、自己肯定感が高い。 「先生は、自分のよいところを認めてくれている」と答えた生徒が非常に多く、学校に対して肯定的である。 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と答えた生徒が多く、ICTが授業で十分活用されていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と答えた生徒が少ない。 平日1日当たり、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)を4時間以上する、または携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴を4時間以上すると答えた生徒が多い。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを伝えるために用いる語句や表現の推敲、また書いた文章を読み合って書き手の意図と読み手の受け止め方がかみ合っているか確かめる機会を設定していく。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 連続する二つの偶数を指導する際、偶数は2で割ったときにあまりが0になる整数であることや、2数の差が2であることなど、数量のもつ特徴を確認していく。その上で、$2n$や$2n+1$などと表し、さらにnに具体的な数を当てはめて、正しく表現できることを確認する活動をしていく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<ul style="list-style-type: none"> ご家庭の協力のおかげで、「自分には良い所がある」「先生は自分を認めてくれる」と感じている生徒が非常に多いです。また将来の夢や目標を持っている生徒が多いです。 スマートフォンやゲームの使用時間が長い生徒が多い一方で、ICTを家庭で学習に利用していると答えた生徒がほとんどいませんでした。ICTのより良い使い方について、ご家庭でもご指導をお願いします。 地域や社会をよくするために何をすべきかを考える場面は少ないようです。地域の行事への参加等をきっかけに、地域の良いところなどを話題にしてください。
